

マダニに注意

〈問い合わせ〉
 県健康危機管理課 感染症・インフルエンザ対策班
 TEL 096(333)2240

春から秋にかけてマダニの活動が活発になります。

マダニとは

- ・大きさは、3〜4mm（吸血前）で、森林や草地などの屋外に生息。
- ・咬まれることで病原体に感染。日本紅斑熱や、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などの病気にかけ、重症化することがあります。
- ※ダニの仲間「ツツガムシ」の吸血で感染する「つつが虫病」も毎年報告されています。

予防対策

- ① 森林や草地などに入る場合は、肌の露出を少なくする。（長袖・長ズボン・足を完全に覆う靴など）
- ② 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認。
- ③ 吸血中のマダニを発見したときは速やかに病院で処置すること。
- ④ 咬まれた後に発熱などの症状があった場合は、病院で受診すること。



ダニ媒介性疾患の主な症状

	症状	潜伏期間	治療法
日本紅斑熱	発熱、発疹、刺し口が主要三徴候。倦怠感・頭痛。発疹は、体幹部から四肢末端部に比較的強く出現。	2〜8日	抗菌薬の投与
つつが虫病	39℃以上の高熱。刺し口は特徴的。数日で体幹部を中心に発疹。倦怠感、頭痛。	5〜14日	抗菌薬の投与
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	原因不明の発熱。嘔吐、下痢、頭痛、意識障害、けいれん、咳、出血症状など。	6日〜2週間	有効な抗ウイルス薬などはなく、対症療法が主体。

狂犬病って何？

- ① 狂犬病ウイルスを持っている哺乳動物にかまれたり、傷口や目などを舐められたりすることで人に感染します。亡くなる人の多くはかまれています。
- ② 一旦発症すると、効果的な治療法はありません。
- ③ 国内では、昭和32年を最後に発生していませんが、平成18年に、国外で犬にかまれ、帰国後に亡くなった事例があります。



- 飼い主の義務です
犬の登録 狂犬病予防注射は必ず行いましょう
- 〈問い合わせ〉
 役場 環境対策課環境保全係
 TEL(67)3176
- 飼い主さんへお願い
 ①年に一回狂犬病予防注射を受けさせましょう
 毎年市町村により集合注射が行われます。動物病院でも接種できます。
- ②犬を飼い始めたら犬の登録をしましょう
 お住いの市町村に登録してください。
- ③犬に鑑札と注射済票を付けましょう
 犬を登録したときに交付される鑑札と、狂犬病予防注射を接種したときに交付される注射済票を犬の首輪に付けておきましょう。犬が迷子になったときも役に立ちます。

消費税率の改定に伴い 4月から水道・浄化槽などの使用料金が変わります



	使用期間	請求日	消費税率
<ul style="list-style-type: none"> ・上水道料金 ・簡易水道料金 ・合併浄化槽使用料金 ・農業集落排水処理施設使用料金 	3月1日〜31日	4月中旬	5%
	4月1日〜30日	5月中旬	8% (10円未満切捨て)

※消費税相当額のための改訂です。使用料金は従来のとおりです
 ※個々の料金については直接、環境対策課にお問合せ下さい

〈問い合わせ〉 役場 環境対策課水質保全係 TEL(67)3176